

# 1 沿革

- 昭和24年 5月 国立学校設置法による横浜国立大学の設置により、附属図書館が設置された。
- 昭和24年 10月 学芸学部分館、経済学部分館及び工学部分館が設置された。
- 昭和25年 3月 附属図書館規則を制定した。
- 昭和26年 4月 学芸学部分館立野分室が設置された。
- 昭和28年 4月 学芸学部分館立野分室が学芸学部横浜分館と改称された。
- 昭和36年 5月 工学部分館が大岡地区に竣工した。
- 昭和41年 4月 学芸学部の名称変更に伴い、学芸学部分館を教育学部分館、学芸学部横浜分館を教育学部横浜分館と改めた。
- 昭和46年 3月 教育学部横浜分館を廃止した。
- 昭和47年 4月 横浜国立大学附属図書館運営委員会を設置した。
- 昭和49年 6月 中央図書館が常盤台地区に竣工 (RC4F 3,957 m<sup>2</sup>) した。  
経済学部分館が経済学部研究棟内に竣工 (RC2F 1,290 m<sup>2</sup>) した。
- 昭和49年 9月 本館、教育学部分館及び経済学部分館が常盤台地区に移転した。
- 昭和51年 4月 附属図書館規則の全面改正に伴い、各分館を廃止し、教育分室、経済・経営分室及び工学分室を設置した。  
附属図書館運営委員会規程、附属図書館利用規程及び附属図書館長選考規程を施行した。  
事務組織が統合され、事務部課制が実施された。
- 昭和51年 10月 「館報」を創刊した。
- 昭和54年 2月 工学分室が常盤台地区に竣工 (1,930 m<sup>2</sup>) した。  
電算機(ACOS 200)を導入した。
- 昭和54年 4月 雑誌受入業務のオンライン処理を開始した。
- 昭和56年 4月 附属図書館規程を一部改正し、従来の中央図書館及び各分室を、中央図書館 (教育科学・人文科学研究フロアを含む)、社会科学系研究図書館及び理工学系研究図書館に改めた。
- 昭和60年 7月 中央図書館2号館増築工事 (3,492 m<sup>2</sup>) が竣工した。
- 昭和62年 1月 新電算機システム (NEC150/78VS) を導入した。(業務用パッケージ LICSU)
- 昭和62年 3月 学術情報センターに接続した。
- 昭和63年 2月 一般市民利用への対応要項を策定した。
- 昭和63年 12月 電算機システムを更新した。(NEC3100/70A)
- 平成 4年 4月 学術情報センター I L L システム (NACSIS-ILL) 稼働に伴い、オンラインによる図書館間相互利用サービスを開始した。
- 平成 5年 4月 社会科学系研究図書館に「社会科学系学術雑誌フロア」及び保存書庫を設置した。
- 9月 蔵書冊数が100万冊を突破した。
- 10月 中央図書館の土曜日開館を開始した。
- 平成 6年 3月 保存書庫 (社会科学系研究図書館) に集密書架を設置した。
- 7月 インターネット及び電話回線によるOPACサービスを開始した。
- 平成 7年 3月 CD-ROMサーバシステムを導入した。
- 12月 電算機システムを更新した。(業務用パッケージ LINUS/U)
- 平成 8年 3月 入退館管理システムを導入した。
- 7月 ホームページの試験運用開始
- 11月 学術情報センター学術雑誌目次速報データベース形成事業への参加
- 平成 9年 2月 インターネット用パソコン7台増設 (総合情報処理センターから移設)
- 7月 学内発行学術雑誌目次情報検索システムの実施
- 10月 理工学系研究図書館の土曜日開館を開始した。
- 平成10年 1月 「横浜国立大学附属図書館沿革誌」の刊行
- 4月 総合情報処理センターの協力 (パソコン27台移設) によりマルチメディアパソコンコーナーを開設した。
- 平成11年 4月 中央図書館、理工学系研究図書館の平日夜間開館を1時間延長した。  
WEB対応CD-ROMサーバシステム及び画像データベースサーバを導入した。
- 5月 中央図書館に国際交流コーナーを設置した。
- 12月 電算機システムを更新した。(業務用パッケージ NALIS)

- 平成12年 3月 「附属図書館のトータルデザインに関する調査研究プロジェクト」(平成11年度実施)の報告書を学長に提出した。
- 4月 横浜国立大学事務情報化推進室が設置された。  
コンソーシアムによる電子ジャーナルサービスを開始した。
- 5月 学内LAN利用のオンライン文献複写申込み(ネットオーダー)を開始した。  
中央図書館に放送大学視聴コーナーを設置した。
- 10月 情報リテラシー教育の一環として図書館主催による総合領域「知の回廊」(平成12年度後期)を実施した。
- 11月 「横浜国立大学中央図書館施設基本計画」を策定した。
- 平成13年 6月 中央図書館新営・改修工事が着工された。
- 11月 「横浜国立大学附属図書館における情報リテラシー教育のあり方《グランドデザイン》」を策定した。
- 平成14年 11月 中央図書館新営・改修工事が竣工(12,231㎡)した。
- 平成15年 4月 中央図書館がリニューアルオープンした。
- 5月 中央図書館竣工記念式典・祝賀会を挙行了した。
- 平成16年 4月 中央図書館にシラバス掲載図書コーナーを設置した。  
一般市民(県内在住・在勤・在学)への貸出サービス(要「学外利用登録」)を開始した。
- 7月 中央図書館及び理工学系研究図書館の休日開館(授業期間中の日曜日・祝日)を開始した。
- 10月 本学卒業生等への貸出サービス(要「学外利用登録」)を開始した。  
中央図書館メディアホール及び情報ラウンジが授業期間中の土曜日・日曜日・祝日にも講演会、展示場として利用可能となった。
- 12月 図書館業務用電算機システムを更新した。(業務用パッケージNALIS)
- 平成17年 1月 中央図書館の自動貸出装置が更新(1台)・増設(1台)されて2台となった。
- 2月 オンライン・リクエストサービス(貸出中図書予約、貸出・予約状況確認、ILL文献複写・図書借用申込)を開始した。
- 3月 神奈川県立川崎図書館との連携協力(巡回連絡車を利用した相互貸借)に関する覚書に調印した。
- 4月 中央図書館の土曜日・日曜日・祝日開館時間を30分延長した。  
神奈川県立川崎図書館と相互貸借(無料)サービスを開始した。  
カラーコピーサービスを開始した。  
中央図書館に教科書(県内の小・中学校で使用)コーナーを設置した。
- 11月 図書館利用者アンケート調査を実施した。
- 平成18年 4月 事務組織改編に伴い、図書館事務部が廃止され、事務局に図書館・情報部が設置された。